

『よどふあるの友』は、淀協・ファルマHPH委員会と西淀川・淀川健康友の会が共に取り組むHPH活動について、様々な情報を発信したり、活動を報告するニュースです。名前は、淀協、ファルマプラン、健康友の会の名前と健康友の会の発行する『健康の友』にあやかりました。

GNTH台湾視察ツアー 報告



大阪、京都、兵庫、香川から医師・薬剤師・事務職員等で総勢9名の参加

昨年西淀病院は、日本で初めて国際的な組織であるGNTH (Global Network For Tobacco Free Healthcare Services) ゴールド認証を受賞しました。その後、GNTHのCEOスーザン氏より結城先生へ「日本でもGNTHを立ち上げてほしい」と熱烈に言われていました。

広島で開催されたHPH国際カンファレンスで、台湾が喫煙防止に非常に力を入れている国であること、台湾では2024年時点で218ヶ所の病院がGNTHに加盟し、そのうち43病院がゴールド認証を取得していることを知り、ぜひとも日本GNTH立ち上げの参考にしたいと今回の視察ツアーが企画されました。



今回、馬偕(マッケイ)記念病院と台北市立關渡醫院の2病院を訪問しました。

馬偕記念病院では家庭医療科外来で禁煙外来が行われており、訪問時も多くの方が待合室にいらっしゃいました。

タブレットで問診記入すると、電子カルテに内容が反映され、来院中の患者の中で喫煙者がすぐわかり、他の科にかかっているにも受診後に禁煙外来へ誘導され、保健指導が行われるというシステムでした。



また敷地内で喫煙している人を見かけても、「ここでは吸わないで」と声をかける勇気が出ない方のために、アナウンスを流すボタンが設置されていました。

6/26(木)午後2時～

オンライン運動教室 毎月第四木曜日開催



「何のための、誰のための、誰と一緒に、 誰が参加する活動にするか！」

台北市立關渡醫院での職員の禁煙教育



台北市立關渡醫院では、職員の禁煙教育について主にお話を聞くことができました。喫煙していることで採用の可否は関係ないが、就職時に禁煙であることを伝え、2年以上働いた職員には、喫煙防止指導管理士の資格を取ってもらうようにしているとのことでした。初級・中級・上級のプログラムがあり、国民健康省（日本の厚労省）が実施しているそうです。やはり、国の政策が重要で、タバコが買える年齢を引き上げたり、タバコ代を値上げしたりしているとのことでした。

關渡醫院では、喫煙害（煙害という言葉があちこちで使われていました）に関するクイズを待合室で実施しており、正解すると景品（マイボトル）がもらえるようになっていました。こちらの病院でも、禁煙外来に特化したシステムが導入されていました。ちなみに、台湾では禁煙外来にかかる負担額は無料だそうです。



街中を歩くと、病院や学校の周りには黄色や赤色の線がはっきりと引かれています。その中で喫煙すると罰金を支払わなくてはなりません。「生徒や職員の健康を守るために、敷地内での喫煙を禁じます」という看板が、あちこちに掲げられていました。

今回の視察ツアーに、台湾HPHと台湾G N T Hのトップの方々がご尽力してくださり、どこに行っても大歓迎されました。今後も交流を続け、ぜひ日本でもG N T Hを立ち上げて、喫煙防止運動をさらに広げていきたいと、参加者一同決意して帰国しました。

西淀病院 副事務長 竹本めぐみ



毎月22日はスワンスワンの日

13:00～13:15

土日・祝日の場合は、次の平日に実施します。

※参加人数と拾った吸い殻の数を
ファックスにてお知らせください！

発行：〒555-0024
大阪市西淀川区野里3-5-22
淀協・ファルマHPH委員会
TEL (06)6471-0496(代表)



日本HPHネットワーク
Japan Network of Health Promoting
Hospitals & Health Services



HPH2025年度アンケート